

木山中 Spirit

益城町立木山中学校

平成30年8月30日

NO5 文責 河瀬清彦

「夢」探しの2学期に！

長い夏休みを終え、いよいよ2学期が始まりましたが、生徒の皆さんは、充実した夏休みを過ごせましたか。本年度は、「木山中生徒として、復興に参加しよう！」のキーワードで頑張ってもらいたいと伝えていましたが、この点ではどうでしたでしょうか。

この夏休みには、多くの木山中生徒が復興に参加し、地域の皆さんに「元気」を与えてくれました。

県中体連大会では、男女剣道団体と個人、男女空手道団体（組手の部）と個人、卓球個人、男子ソフトテニス個人、女子柔道（団体）と男子個人に出場し、そして、中体連九州大会には、空手道で●●くん（2年）が、柔道では●●さん（3年）が出場しました。さらに、●●さんは、広島県で行われた全国大会にも出場し、元気をくれました。吹奏楽部は、吹奏楽コンクールや地域の祭りに参加し素晴らしい演奏を披露し、地域の皆さんの前で元気を与えてくれました。水の作文コンクールでは「学校奨励賞」をいただきました。この木山中学校から優秀で多くの作文が出品されたおかげだと思います。また、ボランティア委員会を中心にワークキャンプ参加（福祉施設体験）もしてくれました。さらに、毎日のように朝7時30分から陸上の練習を行っていた木山中生徒の姿も素晴らしかったです。朝の練習とはいえ、今年の猛暑の中で、中体連大会（陸上、駅伝）に向けて頑張っている姿は、何よりも元気をもらうことができました。

2学期も各学年、特色ある行事が計画されています。特に3年生は、中学校卒業後の進路について、最終的な決断をする学期になります。これまでの進路学習の成果をふまえて、改めて自分の進路希望や進路選択が現実的かどうかを再検討し、「夢」を探し、「夢」実現に向けて歩む2学期にしてほしいと思います。

2年生は、生徒会や部活動などの活動を3年生の先輩から引き継ぎ、実行する学期になります。また、楽しみな修学旅行も控えています。2年生の行動は、先輩の行動として受け継がれていきます。特に、服装や時間のけじめ、勉強の仕方、部活動への取組では、先輩として恥じない態度で過ごしてもらいたいと思います。

1年生は、中学校生活にも慣れ、「実りの学期」です。運動するにしても、勉強するにしても、自分の趣味に没頭するにしても大変よい季節になります。チャレンジ精神をもって、いろんなことに取り組み自分を成長させてほしいと思います。

しかし、どの学年も2学期の行事や学習に取り組む中で、学級の絆を強め、友情を深め、自分をはじめ学級や学年の「夢」を探し、そして、その「夢」を追いかけてほしいと思います。そして、みんなで応援してほしいと思います。

2学期も、「自分を大切にするとともに、友達も大切にすること」、「木山中生として復興に参加しよう！・・・木山中の元気を地域の皆さんへ」を大切に生活を送ってください。

「夢」実現 西渡り廊下完成！

熊本地震では体育館や渡り廊下、校舎にも大きな被害を受けました。しかし、平成29年3月の体育館が復旧し、その年の夏休みには校舎の壁のひび割れ補修工事が終わり、その時を経験した3年生、2年生の皆さんは、たいへんうれしい気持ちになったのを覚えていますか。（絶対に忘れないでください！！）

そして、今度は西渡り廊下が完成しました。今年の3月末より工事が始まり、工事に関わる皆さんが、暑い日、そして雨の日も、木山中学校の生徒の皆さんが2学期からは使えるようにと頑張ってもらいました。町行政の皆さんや工事関係者の皆さんのおかげで、一步一步、私たち木山中学校も復旧していています。本当に感謝でいっぱいです。東渡り廊下の復旧工事も残っており、西渡り廊下は、始業式の30日から使用できるようになっていますが、後日、西渡り廊下渡り初め式を行いたいと思っています。

保護者の皆様も、ぜひ西渡り廊下を見に、そして渡りに来校ください。また東渡り廊下の完成は本年末になる予定です。



【工事開始時の西渡り廊下の様】



【完成した西渡り廊下の様子】

除草作業へのご協力ありがとうございました！

猛暑の続いた今年の夏でしたが、学校の敷地には、びっしりと雑草が生え、草木の生命力に感心するとともに、どうにかしないといけないと思っていました。しかし、26日に行われた、親子除草作業で、再びきれいな木山中学校がよみがえりました。保護者の皆様へは、当日、朝早くから、2時間も除草作業に参加していただき、改めてお礼申し上げます。職員も夏休み中には除草や樹木の選定を行っているのですが、広い木山中学校の敷地ですので、間に合わないのが実情です。第1回は、雨天のため中止となりましたが、今回は実施できましたので、本当にありがたく思いました。生徒にとっては、自分たちの学び舎を自分たちで整備していく、母校愛につながっていかれればと思います。



【生徒会長 ●●さんのあいさ

私は「環境が人をつくり、人は環境をつくる」を大切に、学校経営を行っています。学び舎が美しく、安心できる環境こそが、木山中生徒の健全育成には一番大切であると考えます。皆様のお子様には、この美しい木山中学校で自分の「夢」実現に励んでほしいと願っています。

上益城郡内の生徒会役員が集まりました！

夏休みの8月7日（火）に、上益城郡生徒会交流会が行われ、郡内8校の生徒会役員の皆さんが益城町情報交流センターに集まり、各学校の取組の情報交換を行い、自分たちの学校の生徒会活動を充実するために交流会を行いました。木山中学校からは、●●生徒会長をはじめ、9名の生徒会執行部の皆さんが参加しました。木山中学校の生徒会は、「『瞬感』 感謝を忘れず、一瞬を生きる、木山中Life」のスローガンを掲げ、「ノーチャイム」で学校生活を過ごしているため、時間を自分で確認し、時間を守る習慣がしっかりついていることや、昇降口前での立ち止まった挨拶がしっかりできていることなど、活動の様子を発表しました。



【プレゼン発表の様子】

また、グループでの交流では、各学校の課題を挙げ、どうすれば解決できるか話し合いをしました。



【各学校との交流の様子】

木山中学校のことは知らなかった生徒会執行部の皆さんでしたが、今回の交流会で、情報を交換し合い、木山中学校の良いところや課題点がはっきりしたと思います。生徒会は「自治」活動です。充実した中学校生活を送れるよう、執行部だけではなく生徒全員で考え、取り組む姿勢を創りあげてほしいと思います。

励ましのメッセージが届きました！

夏休みに入り、札幌市立白石中学校生徒会より義援金と応援メッセージ（DVD）が届きました。まず、白石中学校長の●●●●先生より、今年も白石中学校生徒会が募金活動を行った義援金を木山中学校にと、お電話をいただきました。その時、私は、西日本豪雨で多くの被害があった直後でしたので「木山中学校ではなく、西日本豪雨で被害の大きかった学校へはどうですか」とお答えしました。しかし、校長先生からは「白石中学校の生徒は、木山中学校との「つながり」や「きずな」を大切にしていきたいと思っています」との返事がありました。私は胸が熱くなり「ありがとうございます」としか言葉が出てきませんでした。DVDは、後日、生徒全員に見てもらいたいと思っています。



【届いた応援メッセージのDVD】

白石中学校からは、熊本地震後、毎年義援金と励ましのメッセージをいただいています。熊本地震という悲しい出来事でしたが、この地震のおかげで白石中学校の皆さんとのつながりができました。白石中学校の皆さんからいただいた元気をもとに、私たちも、さらに一歩前に踏み出していきましょう。

そして、これまでたくさん支援をいただいています、絶対に応援していただいた方々への感謝を忘れてはいけなくて改めて思いました。このことを、木山中生徒の皆さんへは、何度も言い伝えていきたいと思っています。私たちは、一人ではありません。みんなで支え合って、ふるさとの木山中学校や益城町の復興へ参加していきましょう。

